エコアクション21
認証番号 0002747

環境活動レポート

2022 年度

（対象期間：令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日）

西 湘 Ｋ Ｍ マ テ ッ ク 株 式 会 社

◇目次

1. 組織の概要、対象範囲
2. 実施体制
3. 環境経営方針
4. 環境経営目標とその実績
5. 環境経営計画に基づき実施した取組内容
6. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の目標と計画
7. 環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果、並びに違反・訴訟等の有無
8. 代表者による全体評価と見直し・指示

令和 5 年 5 月 15 日発行

次回発行予定：来年同月

1. 組織の概要、対象範囲

1）事業所名及び代表者名：西湘ＫＭマテック株式会社　代表取締役　金原 達雄

2）所　　在　　地　　：神奈川県小田原市飯泉 1256-5

3）問　合　せ　先　　：事務部 EA21 係　Tel：0465-25-2148　Mail：info@km-matech.com

URL：https://www.km-matech.com/

4）事業活動の内容

・資源リサイクル業　（鉄・非鉄・プラスチック）

・産業廃棄物中間処分業

・産業廃棄物収集運搬業（神奈川県、静岡県、東京都）

5）事業の規模

活動規模	単位	2019 年度 (19.4～20.3)	2020 年度 (20.4～21.3)	2021 年度 (21.4～22.3)	2022 年度 (22.4～23.3)
金属ﾘｻｲｸﾙ量	t	1708	1036	809	629
ﾌﾟﾗｽﾁｯｸﾘｻｲｸﾙ量	t	161.9	150.7	148.3	171.1
収集運搬量	t	1770.32	216.8	207.0	846.42
中間処理量	t	-	1206	1041	715.09
売上高	百万円	58	89	113	79
従業員数	人	6	7	7	9
床面積	㎡	609.7	609.7	609.7	609.7
用途地域		第一種住居地域	第一種住居地域	第一種住居地域	第一種住居地域

6）事業の年度

・9 月～8 月決算（ＥＡ21　環境活動レポート報告対象期間：4 月～3 月）

7）情報公表項目

（1）法人設立年月日：平成 19 年 9 月 14 日

（2）資本金：1000 万円

（3）許可の内容：

許可地域、許可番号、許可区分、廃棄物の種類、許可年月日、許可の有効年月日

神奈川県	産業廃棄物処分業　（溶融、圧縮、切断、機械選別）	０１４２７１４３６４７
	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、木くず、紙くず、繊維くず	令和 2 年 3 月 31 日 令和 7 年 3 月 30 日
神奈川県	産業廃棄物収集運搬業（積替え保管を除く）	０１４０４１４３６４７
	廃プラスチック類（※）、金属くず（※）、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず（※）、木くず、紙くず、がれき類 ※水銀使用製品産業廃棄物を含む	平成 20 年 8 月 5 日 令和 5 年 8 月 4 日
東京都	産業廃棄物収集運搬業（積替え保管を除く）	１３－００－１４３６４７
	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、木くず、紙くず、がれき類 ※水銀使用製品産業廃棄物、石綿含有産業廃棄物を含む	令和 2 年 2 月 19 日 令和 7 年 2 月 18 日
静岡県	産業廃棄物収集運搬業（積替え保管を除く）	１４３６４７
	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、木くず、がれき類（再生利用可能なものに限る）	令和 2 年 12 月 2 日 令和 7 年 12 月 1 日

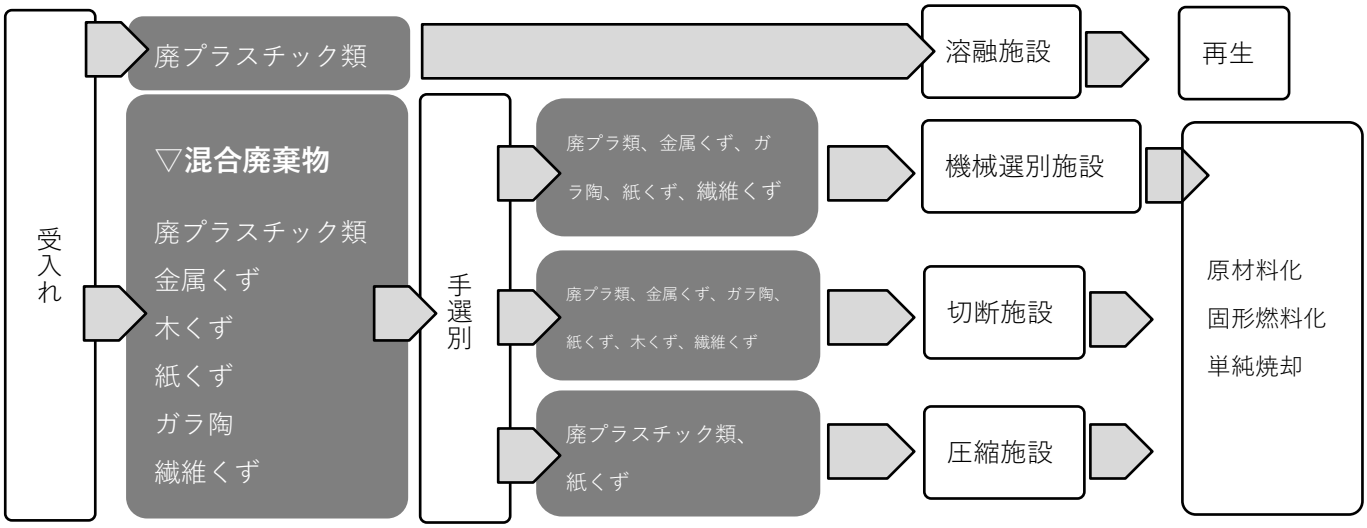
（4）施設状況：

▼収集運搬業：運搬車両の種類と台数

車両		台数
収集運搬車（軽油）	平ボディ（4ｔ）いすゞ自動車製	1
	ウイング（3ｔ）日野自動車製	1
	ダンプ（3ｔ）トヨタ自動車製	1
	アームロール（4ｔ）日野自動車製	1
営業車（ﾚｷﾞｭﾗｰｶﾞｿﾘﾝ）	（HV）プロボックス	1

▼処分業：処理施設の種類、処理する産業廃棄物の種類、処理能力（規模）、処理方式、処理工程図

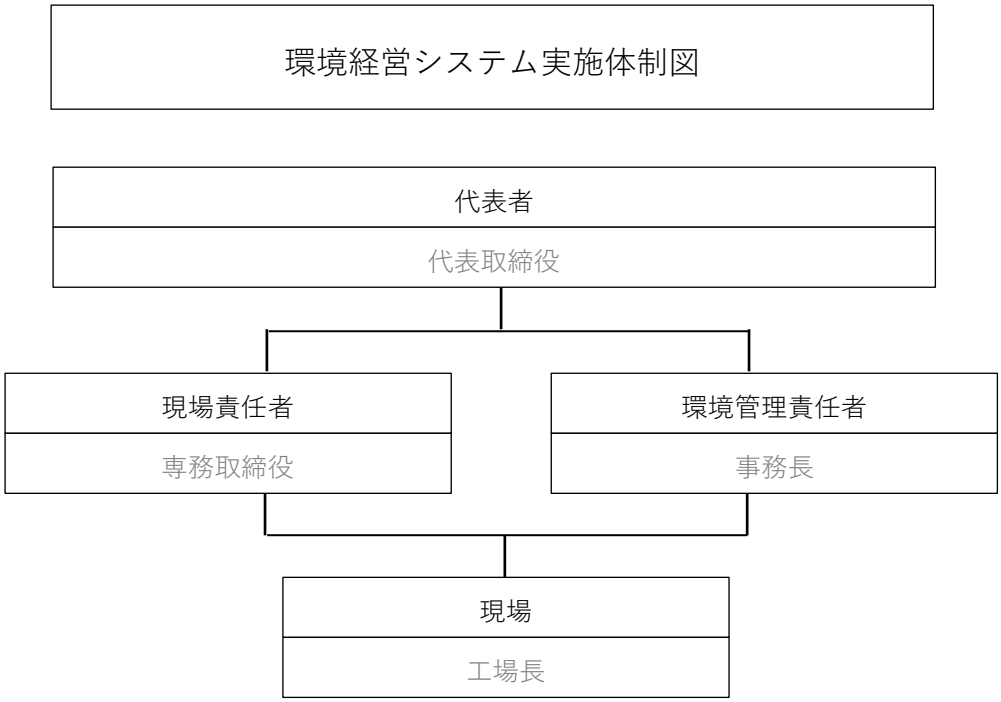
中間処分施設	台数	処理する産業廃棄物の種類	処理能力
溶融施設	1	廃プラスチック類	0.5ｔ/日（8ｈ）
圧縮施設	1	廃プラスチック類、紙くず	2ｔ/日（8ｈ）
切断施設	1	廃プラスチック類、金属くず、ガラ陶、紙くず、木くず、繊維くず	3ｔ/日（8ｈ）
機械選別施設	1	廃プラスチック類、金属くず、ガラ陶、紙くず、繊維くず	3ｔ/日（8ｈ）



9）認証・登録（対象）範囲

・全組織、全活動

2. 実施体制



対象者	役割、責任及び権限
代表者	・経営における課題とチャンスを整理・明確化 ・環境経営方針を定め、誓約 ・効果的で必要十分な実地体制を構築し、役割、責任及び権限の決定 ・社内情報の外部公開可否決定
環境管理責任者	・環境経営目標、環境経営計画の作成・承認及び社内周知 ・全社組織への EA21 活動実施の統括、事務取扱 ・EA21 活動の結果全体の、とりまとめ承認及び代表者への報告 ・問題点の是正措置の統括
現場責任者	・環境管理責任者の補佐 ・内外環境コミュニケーションへの対応（教育・訓練を含む） ・問題点の是正措置、予防措置の実施
現場	・EA21 活動の実施と提案

3.　環境経営方針

環 境 経 営 方 針

＜基本理念＞

　我社は、箱根外輪山や相模湾を有する緑豊かなこの地に創業し、自然の息吹と大地の恵みを肌で感じ、この自然環境を守っていくことの重要性を認識した上で企業活動を行います。

　また、廃棄物の削減と資源循環型社会の実現を目指して、地域に与える環境影響に配慮し、二酸化炭素の発生抑制や省エネルギー・節水に努めるなど、継続的な環境負荷の低減を図るために全社一丸となって以下の項目に取り組みます。

＜行動方針＞

1. 環境関連の法規等を遵守し、環境の保全に努めます。

2. 廃棄物の再資源化を推進し、継続的に改善を図ります。

3. 顧客に廃棄物の発生抑制の情報提供に努めます。

4. 収集運搬等に使用するレギュラーガソリン・軽油等の燃費を改善します。

5. 事務所及び工場における電気使用量の削減に努めます。

6. 水の適切な使用管理を行います。

7. 社内の環境教育を心掛けます。

制定日　平成 23 年 5 月 1 日
改定日　令和 2 年 5 月 1 日
西湘ＫＭマテック株式会社
代表取締役　金原　達雄

4. 環境経営目標とその実績

2017 年度の環境目標の実績値を基にして目標を下記の内容で設定する。

		2019 年度 （19 年 4 月 ～20 年 3 月） 【基準年】	2021 年度 （21 年 4 月 ～22 年 3 月） 【1%減(増)】	2022 年度 （22 年 4 月 ～23 年 3 月） 【2%減(増)】 今回活動期間	2023 年度 （23 年 4 月 ～24 年 3 月） 【3%減(増)】 【基準年】
金属屑のリサイクル（t） 1%増/年	目標	236.0	700	710	**720**
	実績	238.3	809.4	629.4	-
軽油燃料（km/L） 1%増/年	目標	6.47	6.72	6.45	**6.27**
	実績	6.90	6.68	4.00	-
ﾚｷﾞｭﾗｰｶﾞｿﾘﾝ 燃費（km/L）1%増/年	目標	10.99	16.92	17.1	**16.9**
	実績	10.39	19.55	14.4	-
電気使用量の削減 KWh/t　1%減/年	目標	14.2	13.8	13.6	**13.6**
	実績	14.3	9.7	13.7	-
二酸化炭素排出量（kg） 1%減/年　　kg-CO2/ t	目標	35	34.7	34.3	**34.0**
	実績	35	21	31	-
事業系ごみの排出抑（kg）	実績	102	139		-
節水（m^3）	目標	節水管理	節水管理	節水管理	節水管理
	実績	45	287	287	-
廃棄物の有価物への提案（件）	目標	3	3	3	3
	実績	3	3	3	

＊化学物質の使用は無いので、化学物質の使用量削減に関する環境目標は設定していない

＊ガソリン燃費目標値は HV 車になってから初めての算出なので、様子を見るためにも 2019 年度を基準（16.76 ㎞/ℓ）に取組みたい

＊購入電力の排出係数：0.53（kg-CO2/kWh）

＊電気使用量の削減（kWh）：**電気使用量／全出荷量合計（12,788kWh /932 t ）**

＊電気使用量削減の t は全出荷量合計を使用

＊二酸化炭素排出量のkg-CO2 は全出荷量合計を使用（**28,956／932 t** ）

＊2018 年度以降の環境目標は、2017 年度の実績値を基準に 1 年目 1%、2 年目 2%、3 年目 3%減（増）とする。（但しガソリン燃費はゼロベース、有価物への提案件数は 3 件とする、金属屑は 700 t を基準とし、次年目標値は、前年目標値の 1%増加とする）

※2024～2026 年で 3 年目標の再設定は、2022 年度を基準とする。

5.　環境経営計画に基づき実施した取組内容

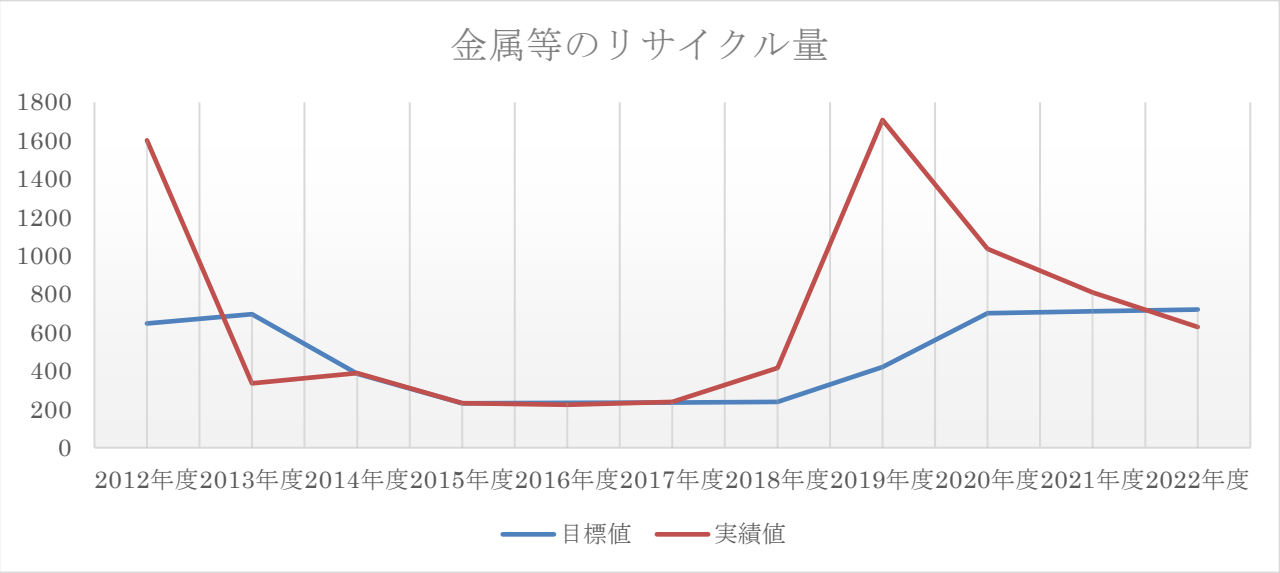
1）金属屑リサイクル量の増大

・金属屑の分別（鉄屑、銅、アルミ、SUS）の強化及び、作業・出荷効率の向上

・金属屑とプラスチックの分別の強化▼減容機の入替及びプラスチック分析機の導入（令和 5 年 6 月予定）

・金属屑の積極的な受入れ

・融解再生によるプラスチックの再生量の増加



2）収集運搬車の軽油燃費の改善

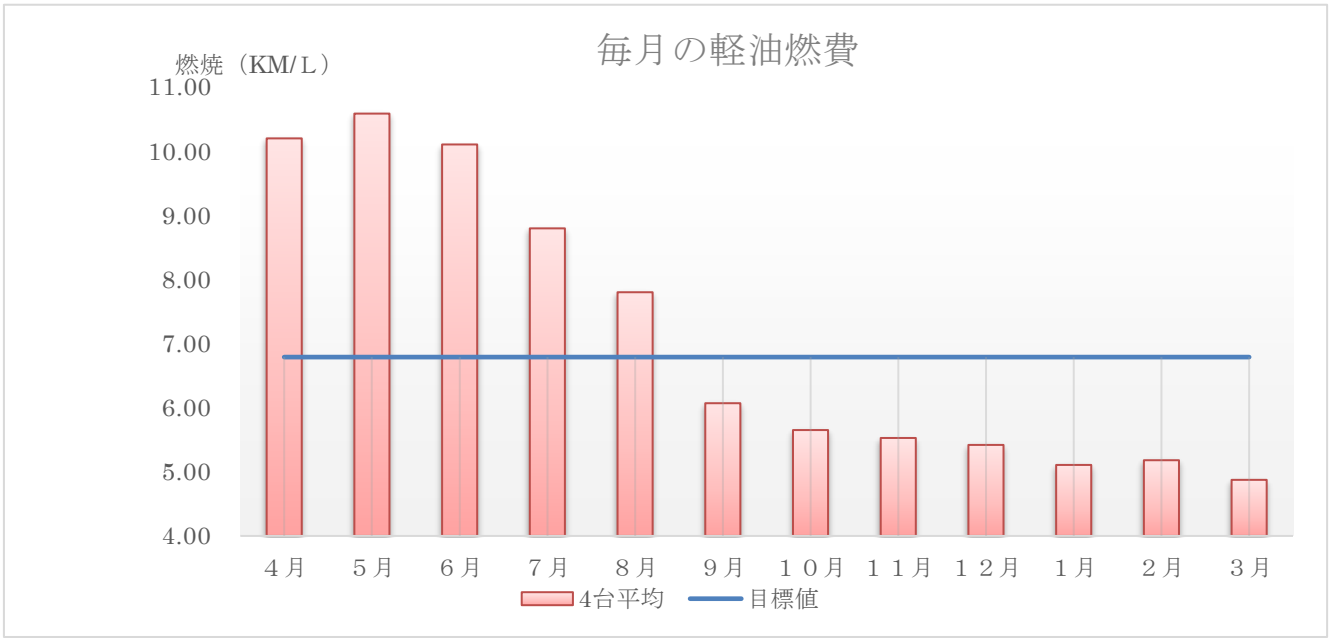
・効率的な運転の推進（渋滞を避け、余裕をもって出発）

・停車時のアイドリングストップの励行

・車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転（加速時ふんわりアクセル、減速時早めにアクセルを離す）

・エアコンの使用は適切にする

・最適な車両の積込・積荷で運転（不要な荷物は載せない）



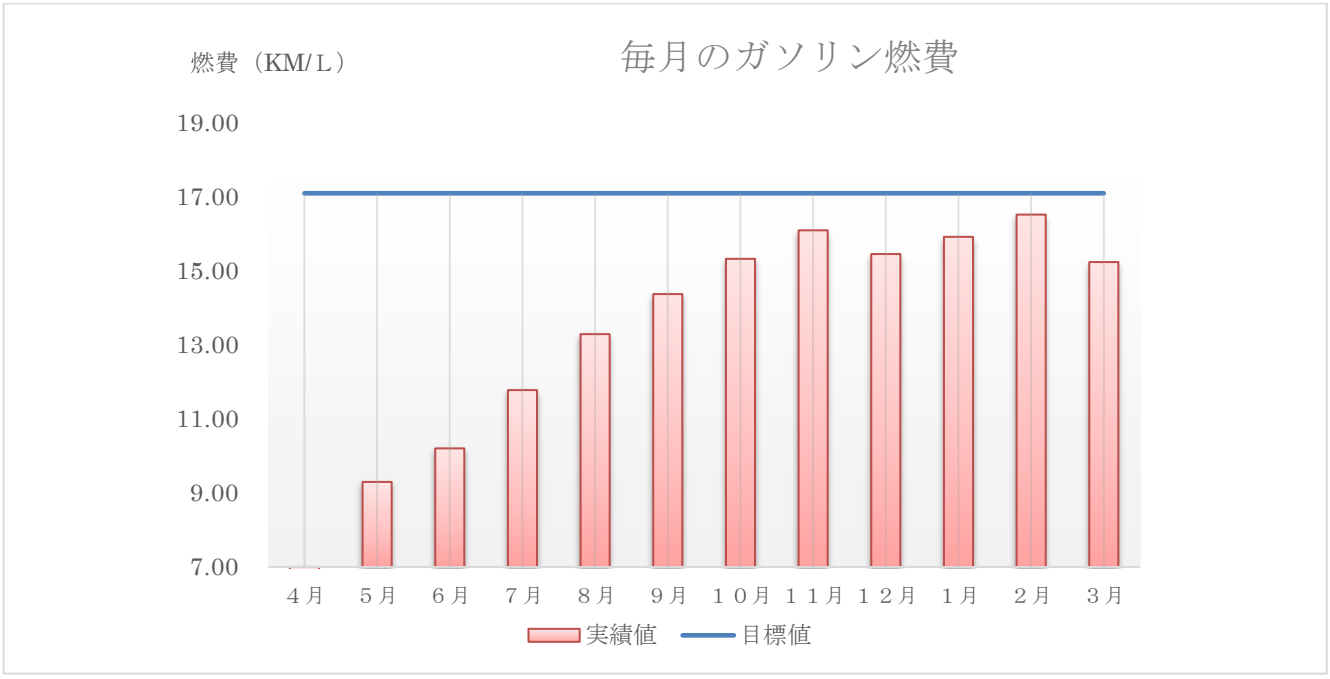
3）営業車のガソリン燃費の意識

・効率的な運転の推進（混雑が予想される道の利用を控える等）

・停車時のアイドリングストップの励行

・急加速及び急停車の防止

・定期的にタイヤの空気圧のチェック

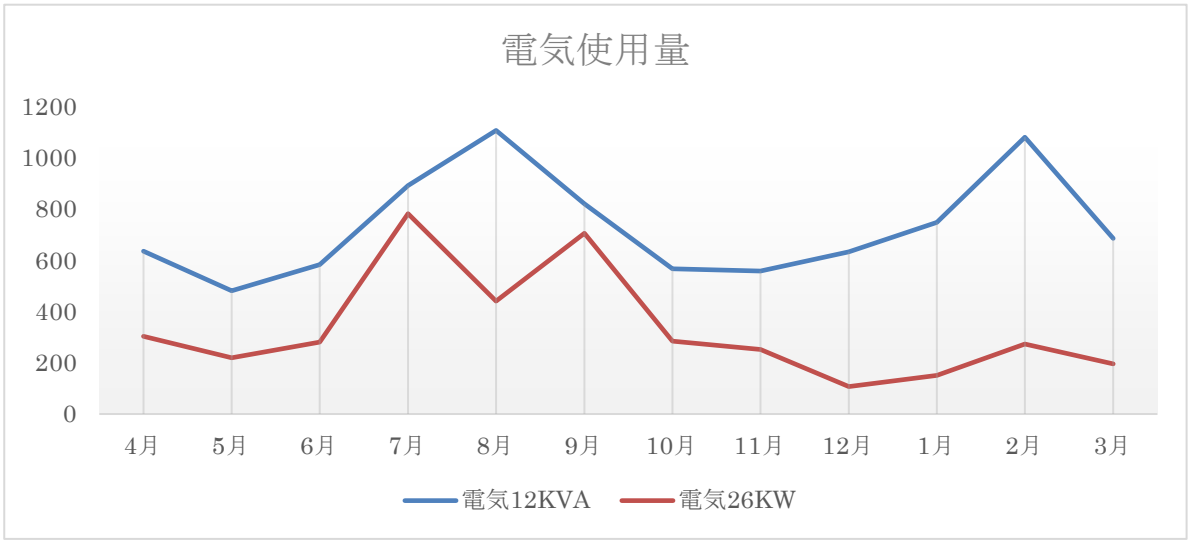


4）電気使用量の削減

・溶融機を効率の良い連続運転で作業する

・不要時のこまめな節電（スイッチＯＦＦ）をする

・エアコンの設定を（冬）30 度、（夏）18～20 度にする



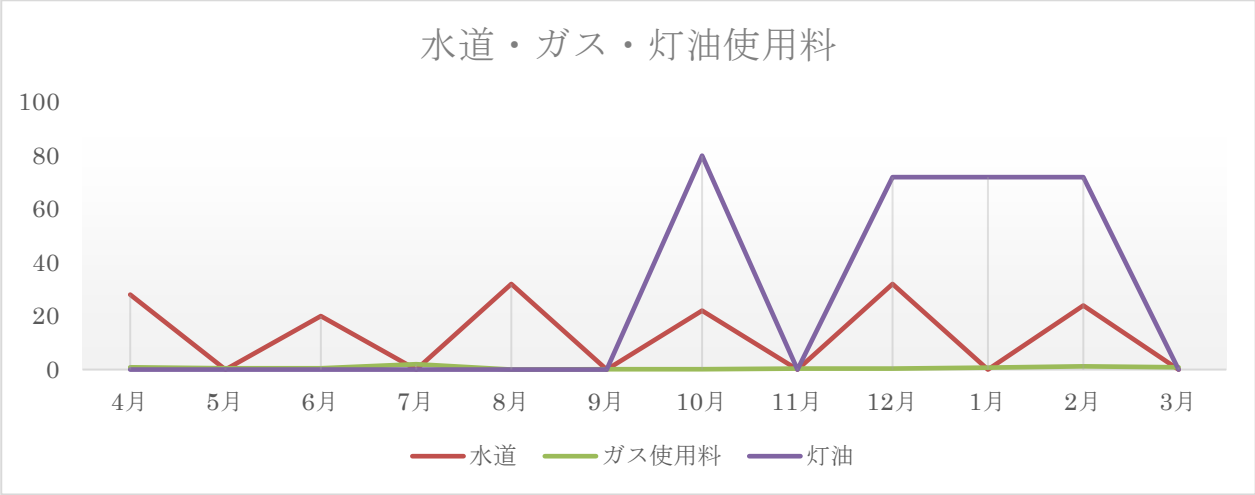
5）事業系ごみの排出抑制

・個人のゴミは自宅へ持ち帰る他、分別・分別管理周知をし可燃ごみを減らすよう心がける

・ミスコピーの削減及びミスコピーの裏紙使用の他、IT・電子メディアによるペーパレス化

6）節水

・生活用水の効率的な使用に努める



7）廃棄物の有価物への提案

・顧客に対し積極的に提案し、廃棄物削減を進めていく

6.　環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の目標と計画

No.	推進項目	単位	今年度目標	今年度実績値	評価	評価及び次年度の取組内容
1	金属等のリサイクル量の増大	t	710	629.4	△	・数年ぶりに減少傾向となった。 ・コロナ過で印刷局等の大型案件受注に向けた見積に粗利が取れず失注案件が多かった。
2	軽油燃料の燃費改善	ｋｍ／Ｌ	6.79	4.26	×	・急ブレーキや急発進の報告（毎月自動AI報告）も無く、安心安全運転に繋がる燃費良好運転が出来たと引き続き取り組みたい。後半は金型等の重量物運搬の為、燃費が足を引っ張ったと思われる。

3	ガソリン燃費の燃費改善	ｋｍ／Ｌ	17.1	14.4	×	・短距離運転が多かった原因もある。引き続き、ℓ/20㎞以上を目指したい。
4	電気使用量の削減	kWh/t	13.4	13.7	△	・現時点で遮光ブラインドを設置しているが、西日の影響で室内温度に大きく影響されているので、次年度は窓ガラスに直接接着するタイプの遮光性の高いエアコンの使用頻度を下げる。
5	二酸化炭素排出量（原単位）	kg-CO_2/t	34	31	○	・３ｔＷ車の導入も、燃費配慮及び環境考慮のある車両を選択した。
6	節水	m^3	実績管理	158	○	・節水管理を引き続き行っていく。
7	廃棄物の有価物への提案	件	3	3	○	・2023年度環境展へ出向くなどをし、有価物への提案を再検討した。

※二酸化炭素排出量の総量の実績は **28,956**Kg- CO_2

評価　：　○→100％　達成　　△→95～100％未満　　×→95％以下

7.　環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果、並びに違反・訴訟等の有無

当社の環境関連法規は、次の通りである。

・廃棄物処理法

・神奈川県生活環境の保全に関する条例

・自動車ＮＯxPM 法

環境関連法規等は遵守しております。

環境関連法規への違反、関係当局よりの違反指摘は、創業以来ありません。

訴訟等もありません。

遵守状況確認日：令和 5 年 3 月 24 日及び 27 日

8.　代表者による全体評価と見直し・指示

1）見直し実施日：2023 年 6 月 1 日

2）全体評価

EA21 を構築し 16 年目となるが、敷地拡大検討や設備投資等によるあらゆる環境変化の中、環境活動はおおむね実施できた。従業員も自ら考え検討し、改善策を提示したり切磋琢磨出来る良い社内環境であると感じる。引き続き、向上心をもって環境活動に取り組みたい。

3）変更の要否

引き続き様子を見ながら、改定検討をする。

4）個別のコメント

①「金属等のリサイクル量」は数年ぶりに目標値を下回る結果になった。新規機械導入により、一層のリサイクル増大による環境負荷の低減を図り、SDG s の取組にも力を入れていきたい。

②「軽油燃料の燃費改善」は、車両の購入をしたものの、燃費向上が図れた。引き続き目標値の最適な設定をし直し、その基準を超えるよう努めていく。

③「ガソリンの燃費改善」は、長距離運転（高速道路の使用頻度が増えた）ことにより、燃費向上が見られた。ℓ/20km以上を目指して、引き続き燃費向上・効率性を求めた運転・安全運転の意識を落とさない。（ヒヤリ・ハットの社内共有）

④ウォーターサーバーの使用頻度も高く、夏場は 1 時間に 1 度休憩するように等、状況に合わせて適度な休憩もしてくれている。外作業の際は、なるべく日陰になる時間帯を推測するなど、社員一人一人が熱中対策に意識を持ってくれている。経費をかけた空調服に関しては、ベスト型を検討中。置き型エアコンも増やすことを検討中。

電気使用量に関して、設定温度が極端すぎるようであるが、建物の構造上、遮熱耐性が低い為である。

⑤二酸化炭素排出量削減に関しては、上記電気使用量の改善策を進めることで励行していく。

また、軽油の使用量に関しては同方向取引先への集約に向けて、月次予定表を立案し、運搬の集約化を図っているので、引続き行っていく。

⑥「事業系ごみの排出」は、個人のゴミは自宅へ持ち帰る他、分別・分別管理周知し可燃ごみを減らしている。また、ミスコピーの削減及びミスコピーの裏紙使用、IT・電子メディアによるペーパレス化による対策も講じている。

⑦「節水」は、水の使用が生活用水に限られ、従来から生活習慣として節水の努力を続けている。

砂埃が経たないよう散水の必要性が出ており、使用量はある一定あるものの、今後も上水の使用量を注意する他、水道メーター検針の確認をして漏水管理していく。型式の古くないドラム式洗濯機は、去年に続き電力と節水だけでなく事務負担にも貢献している。

⑧「廃棄物の有価物への提案」は、これからも顧客に対し積極的に提案し、顧客満足度を上げるとともに、廃棄物削減に努めたい。
また、2023 年度環境展へ伺い、より環境貢献できるよう、社内一丸となって産廃から資源再活用への転換を細かく実践していく。